

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月10日

【四半期会計期間】 第49期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 京都きもの友禅株式会社

【英訳名】 KYOTO KIMONO YUZEN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 服部 雅 親

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号

【電話番号】 (03)3639-9191 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役経営管理本部長 粕谷 進 一

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号

【電話番号】 (03)3639-9191 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役経営管理本部長 粕谷 進 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

| 回次 | 第48期 第3四半期連結 累計期間 | 第49期 第3四半期連結 累計期間 | 第48期 |
|----------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年4月1日 至2018年12月31日 | 自2019年4月1日 至2019年12月31日 | 自2018年4月1日 至2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 7,187,331 | 8,412,648 | 9,240,762 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 374,787 | 63,483 | 812,251 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純損失() (千円) | 144,227 | 9,447 | 818,953 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 161,854 | 13,485 | 830,369 |
| 純資産額 (千円) | 6,577,484 | 5,774,962 | 5,908,968 |
| 総資産額 (千円) | 13,572,833 | 12,738,552 | 12,841,060 |
| 1株当たり四半期(当期)純損 失() (円) | 12.08 | 0.79 | 68.57 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 48.5 | 45.3 | 46.0 |

| 回次 | 第48期 第3四半期連結 会計期間 | 第49期 第3四半期連結 会計期間 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自2018年10月1日 至2018年12月31日 | 自2019年10月1日 至2019年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 9.72 | 2.04 |

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境には改善が見られるものの、米中貿易摩擦の影響等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このようななか、当社グループでは商品構成や広告・販促施策の改善・増強を図り、業績回復に向けて積極的な営業活動を実施してまいりました。当社グループにおける各事業部門別の状況は次のとおりであります。

〔和装関連事業〕

「振袖」販売およびレンタルについては、消費税増税後の反動減の影響は一定あったものの、広告プロモーションの増強により、来店者数が夏の繁忙期を中心に回復し、平均単価の上昇にも繋がったため、受注高としては前年同期比18.2%増となりました。また、既存顧客を対象とした「一般呉服」等の受注高については、新規催事の実施や販売力強化に注力し、前年同期比17.7%増となりました。

以上により、和装関連事業の受注高は、前年同期比17.5%増の7,809百万円となりました。また売上高（出荷高）については、18.5%増の8,165百万円となりました。

利益面においては、粗利率は前年同期と比べ0.6ポイント低下し61.9%となりました。販売費及び一般管理費については、TVCM放映を中心として、1月以降の受注獲得へ向けた先行投資経費が一定増加しているものの、前述のとおり売上高が増加したことにより、対売上高比では8.0ポイント改善いたしました。この結果、和装関連事業の営業損失は204百万円（前年同期は営業損失682百万円）となりました。

〔金融サービス事業〕

金融サービス事業については、売上高は前年同期比15.9%減の247百万円、営業利益は15.5%減の179百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は前年同期比17.0%増の8,412百万円、営業損失は24百万円（前年同期は営業損失471百万円）、経常利益は63百万円（同 経常損失374百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は9百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失144百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、9,395百万円となりました。これは、現金及び預金が142百万円増加し、商品及び製品が15百万円、割賦売掛金が221百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、3,342百万円となりました。これは、敷金及び保証金が41百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、12,738百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、6,695百万円となりました。これは、買掛金が247百万円、販売促進引当金が114百万円それぞれ増加し、前受金が312百万円、預り金が124百万円、賞与引当金が116百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、268百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、6,963百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、5,774百万円となりました。これは、利益剰余金が160百万円減少したことなどによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 受注、販売及び仕入の状況

当第3四半期連結累計期間において、受注、販売及び仕入の状況の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 72,612,000 |
| 計 | 72,612,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在 発行数(株) (2020年2月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|-----------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 15,498,200 | 15,498,200 | 東京証券取引所 (市場第1部) | 単元株式数は 100株であります。 |
| 計 | 15,498,200 | 15,498,200 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年12月31日 | | 15,498,200 | | 1,215,949 | | 1,547,963 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 3,523,200 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 11,961,100 | 119,611 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 13,900 | | 一単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 15,498,200 | | |
| 総株主の議決権 | | 119,611 | |

(注) 単元未満株式欄の普通株式には、当社保有の自己株式64株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 京都きもの友禪株式会社 | 東京都中央区日本橋 大伝馬町14番1号 | 3,523,200 | | 3,523,200 | 22.7 |
| 計 | | 3,523,200 | | 3,523,200 | 22.7 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

| 新役職名 | 旧役職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|---------------------------|-------------------------|-------|------------|
| 代表取締役社長 マーケティング本部長 | 代表取締役社長 | 服部 雅親 | 2019年10月1日 |
| 専務取締役 経営管理本部長 | 取締役 管理本部長 | 粕谷 進一 | 2019年10月1日 |
| 常務取締役 事業開発本部長 兼 事業改革部長 | 常務取締役 企画本部長 兼 事業改革部長 | 山田 重樹 | 2019年10月1日 |

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,674,766 | 3,817,311 |
| 売掛金 | 5,833 | 49,327 |
| 割賦売掛金 | 3,431,407 | 3,210,391 |
| 商品及び製品 | 1,544,848 | 1,529,191 |
| 原材料及び貯蔵品 | 18,525 | 44,152 |
| その他 | 769,993 | 745,559 |
| 流動資産合計 | 9,445,374 | 9,395,933 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 26,407 | 4,000 |
| その他(純額) | 178,664 | 210,446 |
| 有形固定資産合計 | 205,071 | 214,446 |
| 無形固定資産 | | |
| | 37,405 | 52,047 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 337,812 | 303,162 |
| 差入保証金 | 2,052,850 | 2,052,850 |
| 敷金及び保証金 | 760,109 | 718,174 |
| その他 | 2,436 | 1,938 |
| 投資その他の資産合計 | 3,153,208 | 3,076,124 |
| 固定資産合計 | 3,395,686 | 3,342,618 |
| 資産合計 | 12,841,060 | 12,738,552 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 153,681 | 401,341 |
| 未払法人税等 | 4,859 | 64,047 |
| 前受金 | 1,613,454 | 1,300,979 |
| 預り金 | 3,593,859 | 3,468,865 |
| 賞与引当金 | 202,000 | 86,000 |
| 販売促進引当金 | 78,830 | 193,800 |
| 割賦未実現利益 | 496,926 | 493,232 |
| 資産除去債務 | 23,350 | 26,123 |
| その他 | 504,571 | 660,689 |
| 流動負債合計 | 6,671,532 | 6,695,078 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 15,244 | 13,283 |
| 資産除去債務 | 245,315 | 245,225 |
| リース債務 | - | 10,002 |
| 固定負債合計 | 260,560 | 268,511 |
| 負債合計 | 6,932,092 | 6,963,590 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,215,949 | 1,215,949 |
| 資本剰余金 | 1,708,256 | 1,708,256 |
| 利益剰余金 | 6,315,791 | 6,155,288 |
| 自己株式 | 3,335,712 | 3,305,176 |
| 株主資本合計 | 5,904,284 | 5,774,317 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,683 | 645 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,683 | 645 |
| 純資産合計 | 5,908,968 | 5,774,962 |
| 負債純資産合計 | 12,841,060 | 12,738,552 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|---------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 売上高 | 7,187,331 | 8,412,648 |
| 売上原価 | 2,672,304 | 3,184,959 |
| 売上総利益 | 4,515,026 | 5,227,688 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,986,414 | 5,252,284 |
| 営業損失() | 471,388 | 24,596 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 370 | 293 |
| 受取配当金 | 2,511 | 2,221 |
| 信販取次手数料 | 65,802 | 75,878 |
| 雑収入 | 30,485 | 12,560 |
| 営業外収益合計 | 99,169 | 90,954 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 909 | 1,198 |
| 雑損失 | 1,659 | 1,675 |
| 営業外費用合計 | 2,569 | 2,874 |
| 経常利益又は経常損失() | 374,787 | 63,483 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 3,581 |
| 固定資産売却益 | 377,873 | - |
| 特別利益合計 | 377,873 | 3,581 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2 | - |
| 減損損失 | - | 36,303 |
| 投資有価証券売却損 | - | 1,991 |
| 特別損失合計 | 2 | 38,294 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,083 | 28,770 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 36,331 | 38,539 |
| 法人税等調整額 | 110,979 | 322 |
| 法人税等合計 | 147,311 | 38,217 |
| 四半期純損失() | 144,227 | 9,447 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失() | 144,227 | 9,447 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|-----------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 四半期純損失() | 144,227 | 9,447 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17,626 | 4,038 |
| その他の包括利益合計 | 17,626 | 4,038 |
| 四半期包括利益 | 161,854 | 13,485 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 161,854 | 13,485 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 減価償却費 | 52,825千円 | 52,302千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2018年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 143,310 | 12 | 2018年3月31日 | 2018年6月29日 | 利益剰余金 |
| 2018年10月29日 取締役会 | 普通株式 | 143,309 | 12 | 2018年9月30日 | 2018年11月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2019年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 71,654 | 6 | 2019年3月31日 | 2019年6月28日 | 利益剰余金 |
| 2019年10月29日 取締役会 | 普通株式 | 59,874 | 5 | 2019年9月30日 | 2019年11月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 和装関連事業 | 金融サービス 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,893,003 | 294,327 | 7,187,331 | | 7,187,331 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | | 12,880 | 12,880 | 12,880 | |
| 計 | 6,893,003 | 307,207 | 7,200,211 | 12,880 | 7,187,331 |
| セグメント利益 又は損失() | 682,251 | 212,879 | 469,372 | 2,015 | 471,388 |

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 和装関連事業 | 金融サービス 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,165,131 | 247,516 | 8,412,648 | | 8,412,648 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | | 12,623 | 12,623 | 12,623 | |
| 計 | 8,165,131 | 260,140 | 8,425,272 | 12,623 | 8,412,648 |
| セグメント利益 又は損失() | 204,000 | 179,938 | 24,062 | 534 | 24,596 |

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「和装関連事業」セグメントにおいて、資産の用途変更に伴い回収可能価額を見直した結果生じた減少額36,303千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1株当たり四半期純損失() (円) | 12.08 | 0.79 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円) | 144,227 | 9,447 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失() (千円) | 144,227 | 9,447 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 11,942,483 | 11,958,010 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第49期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間配当について、2019年10月29日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|-------------|
| 配当金の総額 | 59,874千円 |
| 1株当たりの金額 | 5円 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 2019年11月29日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

京都きもの友禅株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 田 高 弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉 川 高 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている京都きもの友禅株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、京都きもの友禅株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。